# 薬剤情報

2026-3月　No.35

## 1．採用薬品情報（R8/3/2　薬事審議会）

1）新規採用薬剤

**①グロベニン- I10%静注 5g／50mL、10g／100mL、20g／200mL**
**薬価：5g／50mL ¥66,918、10g／100mL ¥133,836、20g／200mL ¥267,672**

【薬効分類】血漿分画製剤（液状・静注用人免疫グロブリン製剤）
【用法・用量】
効能・効果に応じて以下のとおり投与する。なお、直接静注する場合は、極めて緩徐に行う。
**＜重症感染症における抗生物質との併用＞**
通常、成人に対しては、1回人免疫グロブリンGとして2,500～5,000mg（25～50mL）を、小児に対しては、1回人免疫グロブリンGとして100～150mg（1～1.5mL）/kg体重を点滴静注又は直接静注する。
なお、症状により適宜増減する。
（複数適応あり割愛）

**②セタネオ点眼液0.002%（院外処方）**
**薬価：¥800/mL**

【薬効分類】二環式プロスタグランジン誘導体　緑内障・高眼圧症治療剤
【用法・用量】
1回1滴、1日1回点眼する。

**③ネフィー点鼻液1mg、2mg（院外処方）**
**薬価：1mg ¥22,975.3　2mg ¥24,672.1**

【薬効分類】アナフィラキシー補助治療剤
【用法・用量】
通常、体重30kg未満の患者には、アドレナリンとして1回1mgを、体重30kg以上の患者には、アドレナリンとして1回2mgを鼻腔内に投与する。

**④ビンマックカプセル61mg（院外処方）**
**薬価：¥35,983.7**

【薬効分類】TTR型アミロイドーシス治療薬
【用法・用量】
通常、成人にはタファミジスとして1回61mgを1日1回経口投与する。

**⑤ブリィビアクト錠25mg、50mg**
**薬価：25mg ¥373.3　50mg ¥609.3**

【薬効分類】抗てんかん剤
【用法・用量】
通常、成人にはブリーバラセタムとして1日50mgを1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により1日200mgを超えない範囲で適宜増減できる。

**⑥ブリィビアクト静注25mg**
**薬価：¥2,450**

【薬効分類】抗てんかん剤
【用法・用量】
ブリーバラセタムの経口投与から本剤に切り替える場合
通常、ブリーバラセタム経口投与と同じ1日用量及び投与回数にて、1回量を2分から15分かけて静脈内投与する。
ブリーバラセタムの経口投与に先立ち本剤を投与する場合
通常、成人にはブリーバラセタムとして1日50mgを1日2回に分け、1回量を2分から15分かけて静脈内投与する。

いずれの場合においても、症状により適宜増減できるが、1日最高投与量は200mgとする。

2）後発品変更薬剤

・アフリベルセプト硝子体内注射用キット40mg／mL「バイエル」
（アイリーア硝子体内注射用キット40mg／mLからの切替）
・ラコサミド錠50mg、100mg「サワイ」　（ビムパット錠50mg、100mgからの切替）

3）削除品目

| | |
|---|---|
| ・アピドラ注ソロスター | （使用量低下のため） |
| ・ファセンラ皮下注シリンジ | （ペン型に変更） |
| ・ビムパット錠50mg、100mg | （後発品に変更） |
| ・バランス錠5mg | （使用量低下のため） |
| ・デュピクセント皮下注シリンジ200mg | （ペン型に変更） |

## 2．新規 院外処方薬（院外処方箋でのみ処方可）

- 〔東洋〕桂枝加黄耆湯エキス細粒
- ランプレンカプセル 50mg
- フルコート F 軟膏
- 0.5%ヘキザック水 W

## 3．医薬品安全性情報

なし

## 4．添付文書改訂情報

◆インライタ錠 1 ㎎、5 ㎎

本剤と急性膵炎との因果関係が否定できない症例が集積、使用上の注意を改訂することが適切と判断されため「11. 副作用」の「11.1 重大な副作用」の項に「急性膵炎」が追記されました。改訂事項を以下に示します。

下線は変更箇所

| 現行 | 改訂案 |
|---|---|
| 11. 副作用<br>11.1 重大な副作用<br>（新設） | 11. 副作用<br>11.1 重大な副作用<br>急性膵炎<br>腹痛等の症状、膵酵素上昇が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 |

| | | |
|---|---|---|
| 参考：急性膵炎関連症例※の集積状況<br>【転帰死亡症例】 | 国内症例<br>4 例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例 1 例）<br>【死亡 0 例】 | 海外症例<br>17 例（うち、医薬品と事象との因果関係が否定できない症例 3 例であるが、1 例は承認効能・効果外の症例）<br>【死亡 0 例】 |

※：医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例のうち、膵の画像検査、又は膵酵素（アミラーゼ又はリパーゼ）検査値の情報のある症例